

## 平成26年度 一般会計 予算内示 事業別概要書 (当初)

款	2. 総務費	大事業	8. ファシリティマネジメント推進事業
項	1. 総務管理費	中事業	
目	8. 財産管理費	担当所属	資産管理経営室

予算種別	補助/単独	事業区分	前年度 当初予算額	増減額	前々年度 決算額		5年間計画額			
臨時	単独	計画	0	0	211	実施計画	第6章	「ともに生き、支え合うまちづくり」～市民とともに地域の絆をそだてる行政運営～	平成23年度	1,221
							基本施策10	次世代に良質な資産を引き継ぎます	平成24年度	1,221
									平成25年度	823
							施策1	公共施設利活用・保全方針を策定します	平成26年度	15,310
								平成27年度	310	

本年度事業費	(歳入)	(歳出)
本年度当初要求額		
本年度当初査定額		310

財源内訳									一般財源
本年度当初要求額									0
本年度当初査定額									310

<事業に関する説明>

<p>(事業の概要) FM推進事業の実施</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・公共施設の劣化度の調査及び利用状況調査、施設に関するアンケート等を行い、施設評価を実施します。</li> <li>・ファシリティマネジメントの理解を深め、意識を醸成するために、職員研修を実施します。</li> <li>・先進市視察やファシリティマネジメントに関する研究会等に参加し、情報収集を行います。</li> </ul>	<p>(事業の目的) ・市保有施設・設備・土地といったファシリティに関し、市全体の視点から、経営の効率化、コストの縮減、安全性の向上、顧客(市民)満足・職員満足の向上、環境負荷の低減を図ります。</p>	<p>(事業の効果) ・施設を一つの経営資源と捉え、施設に係る経費の最小化や施設効用の最大化を図ることにより、良質な資産として次世代に引き継ぐことが推進できます。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ファシリティマネジメントの波及効果として、庁内の事務改善や行財政改革につながります。</li> </ul>
<p>(事業実施上の問題点)</p>	<p>(前年度からの見直し点)</p>	<p>(見積についての特記事項) ・公共施設の保全を計画的に実施するための現況調査として、構造劣化度判定調査及び劣化・不具合調査を実施します。</p>

節	本年度 当初査定額	前年度 当初予算額	増減額
09	304	304	0
19	6	6	0

特定財源	款	項	目	節	細節	細々節	歳入特定財源科目名称	本年度 要求額	本年度 査定額	前年度 予算額	増減額
							差引一般財源	0	310	0	310